



学校だより7月号

令和3年 6月30日

横浜市立新田小学校

## 小さきものを大切にする心

校長 村岡 靖

「とんとん。」中休みに校長室のドアをノックする小さな音が聞こえました。かわいいお客さんです。1年生と6年生が数人、校長室にいるメダカの卵を見にきたのでした。1年生は「失礼します。」と行ってすぐに校長室に入ってきました。この4月に学校探検で来たことがあるので慣れているのです。校長室に入るのをためらっている6年生に、1年生が「大丈夫だよ。早く入っておいで。」と促します。

縦割り活動が始まってから5、6年生と1年生が休み時間に一緒に活動しているのをよく見ます。5、6年生は1年生のことをとても可愛がっています。自分たちのことを二の次にして、1年生のお世話をしています。担任の先生が子どもたちに「無理しなくていいんですよ」と話をするほどです。自分の時間も大切ですからね。それでも、1年生と一緒にいる5、6年生の顔はとても輝いています。1年生も嬉しそうです。きっと今の1年生が高学年になったら、1年生を大切にするようになるでしょう。愛情は伝わっていくのです。

メダカの卵から赤ちゃんが孵っているのを見て、可愛い1年生が、「可愛い！」と声を挙げていました。生まれたてのメダカの赤ちゃんは、目玉だけが大きく、まるで目玉が泳いでいるようで、確かに可愛いのです。

人や動物の赤ちゃんはなぜ可愛いのでしょうか。可愛いと感じるのには理由があると言います。体の割に頭が大きいこと、顔の大きさの割に目が大きいこと、哺乳類は大人よりも少しだけ体温が高いこと、丸く柔らかいこと、などです。人や動物は自然と赤ちゃんを可愛いと感じるようになっているそうです。小さいものを大切に思えるような仕掛けが本能に組み込まれているのです。小さいものを大切にできないとその種は繁栄できないからだと言われています。

これからも、小さいものを大切にする新田小学校でありたいと思っています。先日、先生方に学校経営方針を話しました。その1番初めに「一人一人の子どもを徹底的に大切にしよう」「子ども達の安全や安心を守ろう」という話をしました。大人も子どもも、差別や偏見のない、そして暴力や暴言のない、全ての人々が安心して生活できる学校にしていきたいと強く思っています

これからもご理解とご協力をよろしくお願いいたします。